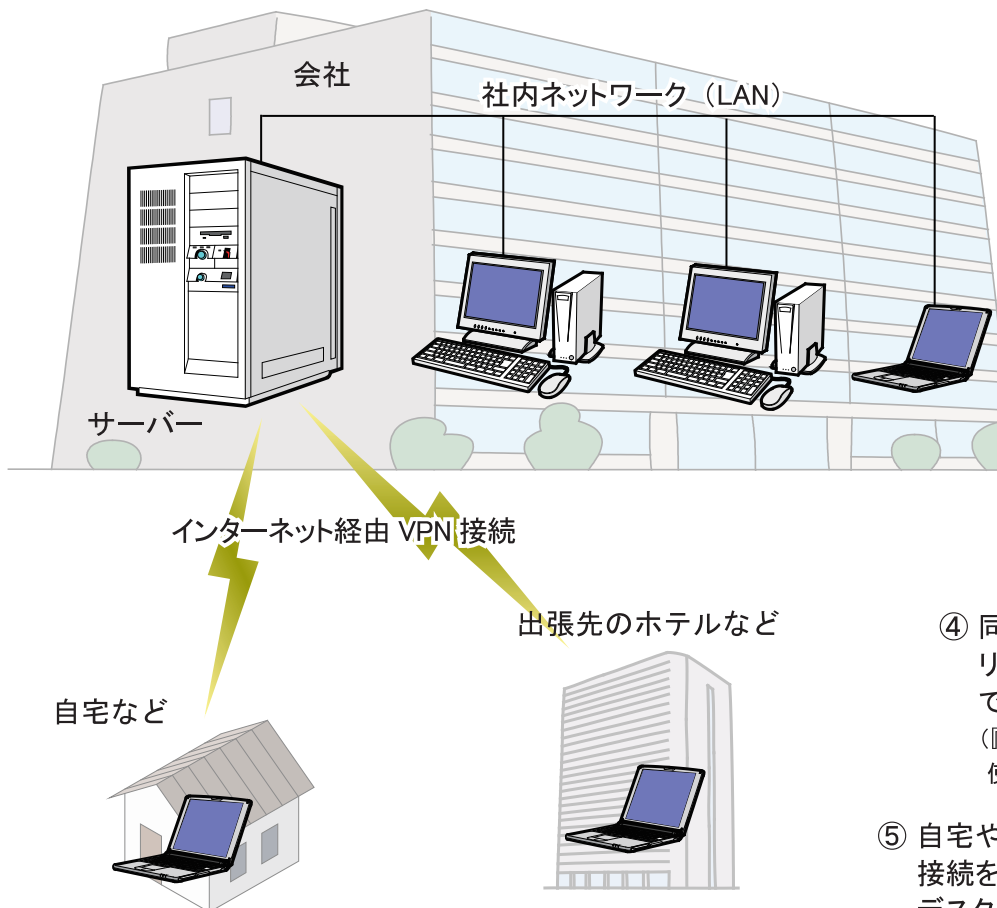


シスポートのアプリケーションソフトは プライベートクラウドに対応しています



【プライベートクラウドの仕組み】

- ① 『BんBい』などのソフトとデータは社内に設置したサーバーに格納します。
- ② クライアントPCからは Microsoft 社の“リモートデスクトップサービス”（旧名称：ターミナルサービス）を使ってサーバーに接続し、サーバー内でプログラムを実行します。
- ③ クライアント PC にリモートデスクトップサービスが使える環境を整えるだけでソフトをクライアント PC にインストールする必要はありません。
- ④ 同時に接続できるクライアント PC の台数はリモートデスクトップサービスのライセンス数で制限されます。
（『BんBい』などのソフトはそのライセンス数分の使用契約が必要です）
- ⑤ 自宅や出先からも、インターネット経由でVPN接続を介してサーバーにアクセスして、リモートデスクトップサービスでプライベートクラウドとして利用することが出来ます。

【プライベートクラウドのメリット】

◆ 自宅や出先からのアクセスが可能となります。

出社しなくても会社のデスクで作業しているのと同じ環境を構築することになり、テレワークをはじめ遠隔地での運用が出来ることから、対人接触の機会を低減することにつながります。

◆ 同時に使用（接続）するクライアント PC の台数分の契約ですみます。

そのソフトを使うクライアント PC すべてにソフトをインストールする必要はありません。
（すべての PC 台数分のライセンス契約は不要です）

例えば社内に 10 台の PC があり、そのすべての PC でそのソフトが使えるようにする場合、以前のクライアントサーバー型のシステムでは 10 台のクライアント PC にソフトをインストールし、10 ライセンスの契約が必要でしたが、同時に使うのが 5 台までとしたら、ライセンス契約は 5 台で済ませることが出来ます。

つまり、10 台のどのパソコンからでも接続できますが、同時にアクセスできるのは 5 台までということになり導入費用が軽減できます。